

チャレンジする 企業を応援



公益財団法人 ひょうご産業活性化センター
理事長 谷口 賢行

巻頭言

ひょうご・神戸の企業は、高度経済成長の終焉後、阪神・淡路大震災という企業の存続をも揺るがす危機を克服しつつ、グローバル化の進展による国際競争の激化で産業構造の変革にも迫られるなど、さまざまな課題を懸命な努力で解決し、着実に歩み続けてこられました。

そして今また、不確実性が極めて高い局面に對峙をされています。内外の感染症の動向やその影響、ウクライナ情勢の展開、資源価格や物価の動向等、いずれも予断を許さない状況にあります。そのような中にあっても、ひょうご・神戸の企業は、これまでの経験を糧に難局を乗り越えようとされています。さらに、むしろこの機にチャレンジ精神を発揮して新たな一步を踏み出され、一層の成長が期待される企業も多くあります。

ひょうご産業活性化センターは、そうした挑戦する経営者の皆様に、異なる視点から「気づき」の機会を提供することに意を用い、どのような経済情勢にあっても的確な経営展開が可能となるよう支援を行っています。

具体的には、ハーバードにある神戸市産業振興センタービルに、神戸市産業振興財団、神戸商工会議所と連携してワンストップの相談センターを開設し、①総合経営相談の窓口「よろず支援拠点」のスタッフが経営者の皆様が抱える課題を共に考え、複数の専門家や支援機関とチームを組んで解決を目指すほか、②企業ニーズに応じた専門人材を確保し、マッチングを図る「専門人材

相談センター」の運営、③企業の技術力・経営力を評価し、円滑な資金調達につながる制度や④企業が導入を希望する設備を代行購入して長期かつ固定金利で貸与する制度の運用、⑤発注企業を開拓し、県内受注企業とのマッチングを図る商談会の開催等、現場の視点でサポートを行っています。また、神戸商工貿易センタービルに、ひょうご海外ビジネスセンターを設置。ジェットロ神戸と神戸市海外ビジネスセンターと一体となり、ワンフロアで「ひょうご・神戸国際ビジネススクエア」を形成し、企業の海外展開を支援しています。

そのほか、県内で創業をめざす起業家への助成や異業種連携を進めるグループへの支援等による新しいビジネスシーズの育成、県内に進出を検討している企業への情報提供等のサポートにも取り組み、地域産業の発展へと繋げていく役割も担っています。

今年度からは、新たに、「ひょうご産業SDGs推進宣言事業」を実施しています。世界の共通認識となりつつあるSDGsの考え方を普及・啓発するほか、SDGsの目標達成に向けた取り組みを宣言する企業を登録・集約し、広く周知することにより、宣言企業を支援していきます。

経営者の皆様が抱える課題をどこに相談すれば良いかわからない時、まずは「よろず支援拠点」(078-977-9085)にご連絡下さい。持てるノウハウ、ツールを最大限に活用し、関係機関と連携してサポートいたします。